



羅

針

盤

明日12日(木)はいよいよ卒業式です。公立後期選抜の入試はその後の16日(月)です。受験する多くの人が3回目でだいぶ慣れていると思いますが、慣れすぎて緊張感がなくなっていますか？特に私学に合格している人は「その私学でもいいか……」と気が緩みがちです。今回が第一志望=本番です。初志貫徹！適度の緊張で、最大の力を出してきてください。

卒業してからは中学校に登校しませんので、諸注意等は今日書いておきます。内容は私学や公立前期選抜と同じです。

公立後期選抜最終チェック

忘れ物は？ 時間の余裕は？

項目	チェック	
	10日昼	16日朝
受験票		
入試要項		
鉛筆5～6本		
消しゴム2個		
持込品・コンパス・定規		
鉛筆削り		
下敷き		
腕時計		
上靴		
下靴入れ		
物貰い物		
めがね		
交通費(円)		
弁当		
水筒(熱いお茶)		

(1) 今日10日(火)家で

① 家に帰ったらすぐに上の表で持ち物と服装のチェックをしましょう。もし足りない物があったらすぐに買いに行きましょう。15日の夜になってからでは買えません。上履きが必要な人は、明日、**体育館シューズを持ち帰ることを忘れないように**。(ほとんどの高校で必要)

項目	チェック	
	10日昼	16日朝
持込品・カイロ		
雨具		
ボタン		
名札		
汚れ、ほつれ		
防寒具		
目覚ましセット(：)		
交換用時刻(：)		
交通経路：自宅→ → → → → → →高校		
電車・バス発車時刻 駅(：)		
入試要項の読み直し		

- ② 公立高校では時計のくるいによる不公平を防ぐため、試験場の時計は取り外すか隠しをしてあります。腕時計は必要です。
- ③ 三角定規、分度器は使用禁止です。直線を引く定規とコンパスは必要です。
- ④ 全日制の高校は全て昼食が必要です。
- ⑤ 天気予報では16日は「雨」の予報となっています。雨具の準備をしておきましょう。替えの靴下があれば足下を気にせず試験に集中できます。体が濡れた時用にすこしだけのタオルもあった方がいいでしょう。下靴入れはスーパーのレジ袋が重宝します。ぬれた物を入れるビニール袋も数枚あると便利です。
- ⑥ もう一度入試要項(プリントor受検票の裏)を読み直し、持ち物や集合時刻などを確認します。
- ⑦ 出願時は、中学校から最も便利な交通手段を使いましたが、今回は、自宅から最も便利な交通手段を選択してください。
- ⑧ 15日の夜はいつも通りに夕食をとり、温かいお風呂にゆっくり入って、早めに寝ましょう。緊張や興奮でなかなか寝付けないと思いますが、眠くなくても10時には寝床に入りましょう。

(2) 当日16日(月)家で

- ① 朝は余裕をもって起きましょう。
- ② 万一発熱など体調がよくないときでも、薬などを飲んでできるだけ受験しましょう。受験しなければ合格できませんが、受験さえすれば力が出せなくとも合格できるかもしれません。体調が良くないときは、出発前に中学校に電話してください。中学校から保健室受験などの処置をお願いします。
- 公立高校は、**インフルエンザにかかっても再試験は行われません**。別室が準備されますので、出発前に中学校に電話で連絡してから高校に行ってください。
- どうしても受験できない場合は、まず中学校に連絡して指示を受けてください。無断欠席はしないでください。いずれの場合も高校へは直接電話しないでください。
- ③ 朝食はなるべく取りましょう。いつも朝食抜きでその方が体調がいい人はいつも通りにしましょう。
- ④ もう一度持ち物と服装を左の表でチェックしましょう。ポロシャツのボタンは一番上まで留めます。携帯電話、おやつ、化粧品などの不要物は持って行ってはいけません。携帯電話の持ち込みは不正行為と見なされる場合があります。



⑤ 集合時刻の20~30分前に到着できるよう、余裕を持って出発しましょう。

⑥ 玄関で家の人へ服装の点検をしてもらって、いざ出発！

(3) 途中で

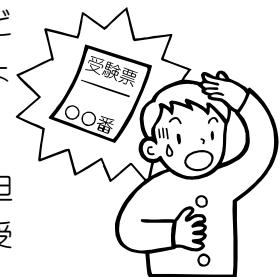
① 必ず電車、バスを使いましょう。自転車やタクシーはなるべく使わないように。電車やバスが遅れた場合は試験時間をずらすなどの処置がなされますが、自転車やタクシーの事故は配慮されません。自転車で直接高校に乗り付けるような失礼な行為は絶対にしないでください。(電車、バスを使うとかえって大幅に時間がかかるなど、特別な理由がある場合は中学校より高校に自転車利用の許可を得ることになっています。本校からはそのような高校はありません。)

② 同じ受験校の友達と待ち合わせをしてもかまいませんが、遅れないように。また約束時刻に友達が来なかった場合は、待たずに出発しましょう。

③ 途中で電車の遅れなどトラブルが発生したらすぐに近くの公衆電話から中学校に連絡してください。中学校から高校に連絡して処置をお願いします。また遅れそうになってもあきらめず、とにかく高校に行きましょう。途中で忘れ物に気付いても、取りに帰らず高校に行きましょう。忘れ物は配慮されますが、20分以上遅刻すると受験できません。

(4) 高等学校で

① 集合方法は学校によって違います。要項、掲示物、放送などに注意し、わからないときは高校の担当の先生にたずねましょう。勝手な判断は禁物です。



② 受験票など忘れ物に気づいたり、トラブルがあった場合は担当の先生に申し出て指示を受けましょう。受験票がなくても受験できます。

③ 発熱や気分が悪いときは、無理をせず担当の先生に申し出ましょう。別室受験など配慮してもらえる場合があります。

④ 教室に入ったらトイレの位置などを確認し、静かに心を落ち着かせましょう。落ち着かないときは、深呼吸をして、熱いお茶を一口！

(5) テスト開始

① 机上に出せる物は、中学校の試験の場合とほぼ同じですが、要項や当日の指示に従ってください。

② テストが配られても、指示があるまで表向けたり鉛筆を持ったりしてはいけません。

③ 「はじめ」の合図でまず受験番号を書き、枚数を確認してから始めましょう。

④ まず問題にざっと目を通し、やさしい問題から取りかかりましょう。あわてずに問題をよく読み、答え方(言葉か記号か等)や解答欄を間違えないよう。

⑤ 印刷のかすれなど、質問は黙って手を挙げ、監督の先生の指示に従ってください。質問したからといって減点されることはありません。

⑥ ものを落としたら自分で拾わず、手を挙げて監督の先生の指示に従ってください。

⑦ 難しい問題は、他の人にも難しい。焦らないように。

⑧ 最後までできたら時間いっぱいまで見直しを。

⑨ あとで受験番号を書き忘れたかもしれないと思ったら、すぐに担当の先生に申し出てください。書かなかったことを理由に不合格になることはありません。

⑩ 全教科が終わるまで、他の人と答え合わせはしないように。人と違うと不安になって次の教科に影響します。

⑪ キヨロキヨロするなど不正行為と疑われるような行為はしない。後輩にまで影響する場合があります。

⑫ 問題・解答用紙の両方とも回収されます。どちらにも落書きしないように。裏に漫画を書いて不合格になった例があります。



⑬ 休憩時間も静かに落ち着いて。多くの学校で先生方が皆さん様子を観察しています。

⑭ 他校生とのトラブルは後輩の合否まで影響することがあります。からまれたら逃げる勇気を！ また自分たちだけで解決しようとせず、早めに高校の先生に連絡してください。

(7) テスト終了

① テストが終わったら寄り道をせずにまっすぐ家に帰ってください。中学校に来る必要はありません。

② 下校の様子を観察している学校もあります。最寄りの駅を出るまで気を抜かずに。

⑧ 16日は、朝7時から中学校に先生が待機しています。何かトラブルがありましたらすぐに電話で連絡してください。(06-6327-6760 または 06-6328-8121)

Good Luck!